



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
 コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 味岡 桂三
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 澁谷 浩 TEL 03-5341-4301
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	57,996	△6.2	3,250	△56.6	3,751	△34.4
2018年3月期第3四半期	61,877	0.3	7,505	△1.0	5,726	△77.2

(注) 包括利益2019年3月期第3四半期 4,614百万円 (△53.7%) 2018年3月期第3四半期 9,976百万円 (△52.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	119.19	72.19
2018年3月期第3四半期	184.05	120.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	5,407,616	293,334	5.4
2018年3月期	5,482,704	291,020	5.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 292,984百万円 2018年3月期 290,646百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示(2006年金融庁告示第20号)に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2019年3月期	—	30.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	△38.6	4,200	14.2	129.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 2社（社名）株式会社東京都民銀行、株式会社新銀行東京

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(5) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	30,650,115株	2018年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	274,291株	2018年3月期	180,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	30,465,529株	2018年3月期3Q	30,473,572株

(注) 当社は、当第3四半期連結会計期間より株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。
(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2018年3月期	—	123.00	—	123.00	246.00
2019年3月期	—	124.00	—		
2019年3月期 (予想)				124.00	248.00

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 1株当たりの払込金額 20,000円
 3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式
 (1) 2018年3月期
 ①算式
 配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率
 ②配当年率
 配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%
 (※配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入)
 ③日本円TIBOR
 2017年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.12818%
 ④発行済株式数
 750,000株
 (2) 2019年3月期 (予想)
 ①算式
 配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率
 ②配当年率
 配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%
 (※配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入)
 ③日本円TIBOR
 2018年3月30日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.13636%
 ④発行済株式数
 750,000株

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2018年3月期	—	12.818	—	12.818	25.636
2019年3月期	—	13.636	—		
2019年3月期 (予想)				13.636	27.272

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 1株当たりの払込金額 20,000円
 3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式
 (1) 2018年3月期
 ①算式
 配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率
 ②配当年率
 配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%
 ③日本円TIBOR
 2017年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.12818%
 ④発行済株式数
 2,000,000株
 (2) 2019年3月期 (予想)
 ①算式
 配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率
 ②配当年率
 配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%
 ③日本円TIBOR
 2018年3月30日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.13636%
 ④発行済株式数
 2,000,000株

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4～5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(7) 企業結合等関係	6
(8) 追加情報	7
3. 2019年3月期第3四半期決算説明資料	
(1) 計数の表示方法について	8
(2) 損益の状況	9～10
(3) 金融再生法開示債権	11
(4) 自己資本比率(国内基準)	12
(5) 貸出金・預金残高等の状況	13
(6) 時価のある有価証券の評価損益	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2018年5月1日付で株式会社東京TYフィナンシャルグループから株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループに商号変更いたしました。また、当社の連結子会社である株式会社東京都民銀行、株式会社八千代銀行、及び株式会社新銀行東京の3行は、同日付で株式会社八千代銀行を存続会社、株式会社東京都民銀行、及び株式会社新銀行東京を消滅会社とする、3行による吸収合併を行い、株式会社きらぼし銀行となりました。

当社グループは、「首都圏における中小企業と個人のお客さまのための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献してまいります。」という経営理念のもと、お客さまや地域、投資家の皆さまの満足度向上につながる、「対話」を起点としたビジネスモデルを構築し、「金融にも強い総合サービス業」を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)のわが国経済は、企業のキャッシュフローが潤沢な中、合理化・省力化に向けた設備投資が増加したほか、雇用・所得環境の改善等に伴う個人消費の増加がみられるなど、引き続き緩やかな回復基調を持続しました。

当社グループの主な営業エリアである東京圏の中小企業の景況は、外国人観光客の増加によるインバウンド需要の拡大、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた需要の本格化や、都心部の再開発による建設投資の活発化等により、全体として緩やかに改善しております。

一方で、東京圏を含むわが国において人手不足が一層深刻化しております。これにより、企業収益が人件費の増加に下押しされているほか、人材の確保や生産への影響、受注機会損失への対応が中小企業の課題となっています。また、先行きについては、国内需要に牽引される形で景気回復の継続が見込まれているものの、米中貿易摩擦をはじめとする海外経済の不確実性や昨年末からの株価下落等により、経済の下振れ懸念も強まってきております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経常収益は、有価証券売却益の減少を主な要因として前期比38億円減少し579億円となりました。一方、経常費用は前期比3億円増加し547億円となり、その結果、経常利益は前期比42億円減少し32億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税効果会計により法人税等が前期比23億円減少したこと等から、前期比19億円減少し37億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比750億円減少し5兆4,076億円となり、純資産は前連結会計年度末比23億円増加し2,933億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,283億円減少し4兆5,237億円、貸出金は前連結会計年度末比72億円増加し3兆6,834億円、有価証券は前連結会計年度末比485億円減少し1兆1,601億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月2日に公表いたしました2019年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
現金預け金	377,636	377,411
コールローン及び買入手形	1,264	1,132
買入金銭債権	55,650	55,995
商品有価証券	707	1,030
有価証券	1,208,629	1,160,120
貸出金	3,676,146	3,683,410
外国為替	13,556	4,934
その他資産	84,062	56,293
有形固定資産	59,627	60,506
無形固定資産	2,365	2,683
退職給付に係る資産	18,391	19,647
繰延税金資産	5,184	4,723
支払承諾見返	5,677	5,789
貸倒引当金	△ 26,195	△ 26,061
資産の部合計	5,482,704	5,407,616
負債の部		
預金	4,652,109	4,523,739
譲渡性預金	9,540	30,024
コールマネー及び売渡手形	58,937	89,740
債券貸借取引受入担保金	357,265	380,401
借入金	73,558	53,566
外国為替	224	258
信託勘定借	53	-
その他負債	25,167	28,172
賞与引当金	2,140	511
退職給付に係る負債	2,845	72
役員退職慰労引当金	67	20
ポイント引当金	58	41
利息返還損失引当金	8	8
睡眠預金払戻損失引当金	1,185	1,258
システム解約損失引当金	200	-
事業譲渡損失引当金	194	-
偶発損失引当金	612	628
繰延税金負債	1,837	49
支払承諾	5,677	5,789
負債の部合計	5,191,683	5,114,282
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	150,576	150,567
利益剰余金	106,206	107,891
自己株式	△ 625	△ 800
株主資本合計	283,657	285,158
その他有価証券評価差額金	6,075	5,131
土地再評価差額金	△ 242	△ 242
為替換算調整勘定	10	7
退職給付に係る調整累計額	1,146	2,928
その他の包括利益累計額合計	6,989	7,825
新株予約権	101	56
非支配株主持分	271	293
純資産の部合計	291,020	293,334
負債及び純資産の部合計	5,482,704	5,407,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
経常収益	61,877	57,996
資金運用収益	43,108	44,025
(うち貸出金利息)	33,196	32,390
(うち有価証券利息配当金)	8,981	10,694
信託報酬	38	67
役務取引等収益	13,050	12,118
その他業務収益	2,402	488
その他経常収益	3,276	1,296
経常費用	54,371	54,746
資金調達費用	2,432	2,713
(うち預金利息)	1,273	944
役務取引等費用	2,385	2,235
その他業務費用	594	639
営業経費	45,472	43,047
その他経常費用	3,487	6,111
経常利益	7,505	3,250
特別利益	119	0
固定資産処分益	119	0
特別損失	156	65
固定資産処分損	156	65
税金等調整前四半期純利益	7,468	3,184
法人税等	1,717	△595
四半期純利益	5,750	3,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,726	3,751

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	5,750	3,779
その他の包括利益	4,225	834
その他有価証券評価差額金	3,605	△754
土地再評価差額金	△32	-
為替換算調整勘定	3	△2
退職給付に係る調整額	522	1,782
持分法適用会社に対する持分相当額	127	△190
四半期包括利益	9,976	4,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,946	4,587
非支配株主に係る四半期包括利益	29	26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

従来連結の範囲に含めておりました株式会社東京都民銀行、及び株式会社新銀行東京は、2018年5月1日付で当社の連結子会社である株式会社八千代銀行を存続会社とする吸収合併により消滅し、株式会社八千代銀行は、同日付で株式会社きらぼし銀行に商号を変更しております。

また、特定子会社の異動には該当しておりませんが、2018年9月3日付で当社が100%出資する子会社きらぼしキャピタル株式会社を設立し、中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の処理)

当社及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

また、繰延税金資産及び繰延税金負債については、回収可能性等を検討した上で四半期連結貸借対照表に計上しております。

(7) 企業結合等関係

(共通支配下の取引等)

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称：株式会社八千代銀行

事業の内容：銀行業

(吸収合併消滅会社)

名称：株式会社東京都民銀行

事業の内容：銀行業

名称：株式会社新銀行東京

事業の内容：銀行業

(2) 企業結合日

2018年5月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社八千代銀行を吸収合併存続会社、株式会社東京都民銀行及び株式会社新銀行東京を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社きらぼし銀行

(5) その他取引の概要に関する事項

本件合併は、これまで培ってきた東京都民銀行、八千代銀行及び新銀行東京の「強み」「特長」を活かし、経営統合から一歩進んだ合併により統合効果を最大限発揮し、競争力強化、経営効率化を一層進展させることで、東京都及び神奈川県北東部を中心とした首都圏で存在感を一層発揮できる磐石な経営基盤を確立させることを目的としております。地域金融の担い手として一層真価を発揮していくことを通じて、首都圏においてお客さまから真に愛される地域No.1の地方銀行グループを目指してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

（8）追加情報

（役員向け株式報酬制度）

当社は、当第3四半期連結会計期間より、当社取締役並びに当社子会社である株式会社きらぼし銀行の取締役（社外取締役を除きます。）及び委任契約を締結している執行役員（以下「子会社役員」といいます。）に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

当社グループは、取締役及び子会社役員を対象に中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を一層高めることを目的として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託（以下「本信託」といいます。）が当社株式を取得し、当社が各取締役及び子会社役員に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて当該取締役及び子会社役員に対して交付される株式報酬制度の導入を、2018年6月28日の当社株主総会で決議し、本制度に基づき、2018年11月22日に信託を設定致しました。

なお、取締役及び子会社役員が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役及び子会社役員の退任時です。

2. 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

3. 信託が所有する自社の株式に関する事項

信託が所有する当社株式は株主資本に自己株式として計上しております。信託における自己株式の帳簿価額及び期末株式数は以下の通りであります。

- | | |
|----------------|---------|
| （1） 信託における帳簿価額 | 205 百万円 |
| （2） 期末株式数 | 99 千株 |

3. 2019年3月期第3四半期決算説明資料

(1) 計数の表示方法について

2018年5月1日付で、当社の連結子会社である旧東京都民銀行、旧八千代銀行、及び旧新銀行東京は、旧八千代銀行を存続会社、旧東京都民銀行、及び旧新銀行東京を消滅会社として合併を行い、商号をきらぼし銀行に変更しております。

そのため、2018年12月期の会計上のきらぼし銀行の計数につきましては、消滅会社である旧東京都民銀行、及び旧新銀行東京の2018年4月の計数は含まれておりません。

本決算説明資料におけるきらぼし銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

- ・ 2017年12月期、2017年12月末の計数
旧東京都民銀行、旧八千代銀行、及び旧新銀行東京の計数を単純合算

- ・ 2018年9月末、2018年12月末の計数
きらぼし銀行の計数

- ・ 2018年12月期の計数
 - (A) 決算ベース
2018年5月以降のきらぼし銀行の計数と、2018年4月の旧八千代銀行の計数を単純合算

 - (B) 合算ベース
2018年5月以降のきらぼし銀行の計数と、2018年4月の旧東京都民銀行、旧八千代銀行、及び旧新銀行東京の計数を単純合算

(2) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2019年3月期第3四半期の連結経常収益は、前年同期比3,881百万円減少の57,996百万円、連結経常利益は前年同期比4,255百万円減少の3,250百万円、税効果会計により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,975百万円減少の3,751百万円となりました。

(単位：百万円)

		2018年 12月期	2017年 12月期比	2017年 12月期
連結経常収益	1	57,996	△ 3,881	61,877
連結粗利益	2	51,112	△ 2,075	53,187
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(51,349)	(△ 1,330)	(52,679)
資金利益	4	41,312	637	40,675
信託報酬	5	67	29	38
役務取引等利益	6	9,883	△ 782	10,665
その他業務利益	7	△ 150	△ 1,957	1,807
経費(除く臨時処理分)	8	42,070	△ 2,602	44,672
与信関係費用	9	2,573	2,081	492
株式等関係損益	10	395	△ 1,950	2,345
持分法による投資損益	11	84	—	84
その他	12	△ 3,698	△ 750	△ 2,948
経常利益	13	3,250	△ 4,255	7,505
特別損益	14	△ 65	△ 28	△ 37
税金等調整前四半期純利益	15	3,184	△ 4,284	7,468
法人税等	16	△ 595	△ 2,312	1,717
四半期純利益	17	3,779	△ 1,971	5,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	28	4	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	3,751	△ 1,975	5,726

② きらぼし銀行

【単体】

2019年3月期第3四半期(合算ベース)のコア業務純益は、合併効果による経費削減が進んだものの、貸出金利息等の資金利益の減少等により、前年同期比1,554百万円減少の9,578百万円となりました。
 与信関係費用は、元行員の不祥事件(現金の着服)により697百万円を個別貸倒引当金に計上したこと等から、前年同期比2,049百万円増加の2,561百万円となりました。
 その結果、経常利益は前年同期比7,381百万円減少の3,479百万円、四半期純利益は前年同期比5,047百万円減少の3,890百万円となりました。

(単位:百万円)

	2018年 12月期(A) 決算ベース	2018年	2017年	2017年	
		12月期(B) 合算ベース	12月期比	12月期 合算ベース	
経常収益	1	54,790	58,085	△ 7,539	65,624
業務粗利益	2	47,757	50,608	△ 4,663	55,271
(除く国債等債券損益(5勘定戻)) 【コア業務粗利益】	3	(47,987)	(50,835)	(△ 3,777)	(54,612)
資金利益	4	40,467	42,911	△ 2,041	44,952
信託報酬	5	64	67	29	38
役務取引等利益	6	7,497	7,837	△ 680	8,517
その他業務利益	7	△ 271	△ 208	△ 1,969	1,761
経費(除く臨時処理分)	8	38,655	41,256	△ 2,224	43,480
人件費	9	19,259	20,451	△ 1,096	21,547
物件費	10	16,563	17,677	△ 574	18,251
税金	11	2,832	3,127	△ 554	3,681
業務純益(一般貸倒引当金繰入前) 【実質業務純益】	12	9,102	9,351	△ 2,439	11,790
(除く国債等債券損益(5勘定戻)) 【コア業務純益】	13	(9,332)	(9,578)	(△ 1,554)	(11,132)
一般貸倒引当金繰入額 ①	14	423	354	787	△ 433
業務純益	15	8,678	8,997	△ 3,227	12,224
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	16	(△ 230)	(△ 226)	(△ 884)	(658)
臨時損益	17	△ 5,228	△ 5,517	△ 4,154	△ 1,363
不良債権処理額 ②	18	2,181	2,206	398	1,808
貸出金償却	19	2	2	-	2
個別貸倒引当金繰入額	20	1,734	1,751	149	1,602
債権売却損	21	51	51	26	25
偶発損失引当金繰入額	22	9	15	123	△ 108
信用保証協会責任共有制度負担金	23	376	377	92	285
その他不良債権処理額	24	6	7	7	0
貸倒引当金戻入益 ③	25	-	-	△ 862	862
償却債権取立益	26	60	60	△ 4	64
株式等関係損益	27	600	599	△ 2,057	2,656
その他臨時損益	28	△ 3,707	△ 3,971	△ 833	△ 3,138
経常利益	29	3,450	3,479	△ 7,381	10,860
特別損益	30	△ 50	△ 65	△ 28	△ 37
税引前四半期純利益	31	3,399	3,413	△ 7,409	10,822
法人税等	32	△ 471	△ 476	△ 2,361	1,885
四半期純利益	33	3,870	3,890	△ 5,047	8,937
与信関係費用 ①+②-③	34	2,605	2,561	2,049	512

【連結】

(単位:百万円)

経常収益	35	56,210	59,505	△ 5,422	64,927
経常利益	36	4,433	4,462	△ 5,114	9,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	4,527	4,547	△ 2,676	7,223

(3) 金融再生法開示債権

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2018年 12月末			2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,439	2,041	△ 491	16,398	18,930
危険債権	63,778	△ 2,325	△ 3,712	66,103	67,490
要管理債権	4,747	△ 8	1,563	4,755	3,184
小計 (A)	86,964	△ 294	△ 2,641	87,258	89,605
正常債権	3,670,125	35,200	42,469	3,634,925	3,627,656
総与信額 (B)	3,757,090	34,907	39,829	3,722,183	3,717,261
総与信額に占める割合 (A)÷(B)	2.31	△ 0.03	△ 0.10	2.34	2.41

(参考) 部分直接償却を実施した場合の金融再生法開示債権

(単位：百万円、%)

	2018年 12月末			2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,908	867	△ 329	6,041	7,237
危険債権	63,778	△ 2,325	△ 3,712	66,103	67,490
要管理債権	4,747	△ 8	1,563	4,755	3,184
小計 (A)	75,434	△ 1,466	△ 2,478	76,900	77,912
正常債権	3,670,125	35,200	42,469	3,634,925	3,627,656
総与信額 (B)	3,745,559	33,734	39,990	3,711,825	3,705,569
総与信額に占める割合 (A)÷(B)	2.01	△ 0.06	△ 0.09	2.07	2.10

(4) 自己資本比率(国内基準)

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位:百万円、%)

	2018年 12月末	2018年 9月末比	2018年 9月末
(1) 自己資本比率 (2)÷(3)	9.01	△ 0.17	9.18
(2) 自己資本	284,756	△ 114	284,870
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	285,158	△ 220	285,378
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,614	127	5,487
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	5,000	—	5,000
(3) リスク・アセット	3,157,979	55,554	3,102,425
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	126,319	2,222	124,097

② きらぼし銀行【単体】

(単位:百万円、%)

	2018年 12月末	2018年 9月末比	2018年 9月末
(1) 自己資本比率 (2)÷(3)	8.71	△ 0.14	8.85
(2) 自己資本	275,718	△ 231	275,949
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	276,083	△ 48	276,131
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,279	127	5,152
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	5,000	—	5,000
(3) リスク・アセット	3,163,203	47,543	3,115,660
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	126,528	1,902	124,626

③ きらぼし銀行【連結】

(単位:百万円、%)

	2018年 12月末	2018年 9月末比	2018年 9月末
(1) 自己資本比率 (2)÷(3)	8.88	△ 0.14	9.02
(2) 自己資本	281,465	69	281,396
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	281,383	242	281,141
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	5,614	127	5,487
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	5,000	—	5,000
(3) リスク・アセット	3,166,834	47,990	3,118,844
(4) 総所要自己資本額 (3)×4%	126,673	1,920	124,753

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。

また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

(5) 貸出金・預金残高等の状況

きらぼし銀行【単体】

① 貸出金の状況

(単位：百万円、%)

	2018年 12月末	2018年 9月末比		2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
貸出金(未残)	3,683,173	29,356	18,028	3,653,817	3,665,145
(除く特別国際金融取引勘定)(未残)(A)	(3,683,173)	(29,481)	(18,186)	(3,653,692)	(3,664,987)
中小企業等貸出金(B)	3,045,378	42,725	73,986	3,002,653	2,971,392
うち消費者ローン	794,445	△7,984	△21,459	802,429	815,904
中小企業等貸出比率(B)÷(A)	82.68	0.50	1.61	82.18	81.07

② 預金の状況

(単位：百万円)

	2018年 12月末	2018年 9月末比		2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
預金(未残)	4,535,455	△52,669	△258,950	4,588,124	4,794,405
個人預金	3,060,254	△20,264	△152,435	3,080,518	3,212,689
法人預金	1,371,322	△24,034	△49,420	1,395,356	1,420,742
その他預金	103,879	△8,370	△57,094	112,249	160,973

③ 預り資産残高

(単位：百万円)

	2018年 12月末	2018年 9月末比		2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
預り資産	473,734	△16,231	△12,375	489,965	486,109
投資信託	199,329	△21,165	△16,517	220,494	215,846
生命保険	235,564	7,109	11,086	228,455	224,478
公共債	38,839	△2,176	△6,945	41,015	45,784

④ 工事信託

(単位：百万円)

	2018年 12月末	2018年 9月末比		2018年 9月末	2017年 12月末
		2018年 9月末比	2017年 12月末比		
工事信託契約額	25,397	9,526	13,373	15,871	12,024
工事信託買取残高	4,424	△59	△591	4,483	5,015

(6) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2018年12月末				2017年12月末		
	評価損益	2017年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	12,373	△1,726	12,665	292	14,099	14,334	234
その他有価証券	7,183	△2,228	13,923	6,740	9,411	15,590	6,178
株式	6,192	△4,044	8,164	1,972	10,236	11,131	895
債券	1,864	1,449	2,422	557	415	1,847	1,432
その他	△873	367	3,336	4,210	△1,240	2,610	3,850

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2018年12月末				2017年12月末		
	評価損益	2017年 12月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	18,606	△3,131	18,893	286	21,737	21,911	173
その他有価証券	12,000	△3,082	18,087	6,087	15,082	20,763	5,680
株式	7,504	△4,218	9,025	1,521	11,722	12,395	672
債券	3,228	846	3,733	505	2,382	3,693	1,310
その他	1,268	291	5,328	4,060	977	4,675	3,697